



元気に労働運動発祥の地・墨田を巡った参加者

歩いて歴史を学ぼう 労働運動発祥の地、墨田

歩いて歴史を学ぼう、労働組合発祥の地・墨田区を知ろうと、10月27日(土)に、すみだの平和と労働運動の歴史を遺る町あるきツアーを墨田労働と年金者組合墨田支部の共催で行ない、17人が参加しました。

墨田区は、江戸時代から明治・大正にかけて東京の庶民の生活を支え、また近代化の流れの中で、労働者や職人が多く活気のある

歩いて歴史を学ぼう、労働組合発祥の地・墨田区を知ろうと、10月27日(土)に、すみだの平和と労働運動の歴史を遺る町あるきツアーを墨田労働と年金者組合墨田支部の共催で行ない、17人が参加しました。

墨田区は、江戸時代から明治・大正にかけて東京の庶民の生活を支え、また近代化の流れの中で、労働者や職人が多く活気のある

現場の賃金・労働条件改善求め

東京土建 大手建設住宅企業と交渉



700人が決起した住宅企業交渉決起集会

この間、大手建設企業は、下請外注費をおさえ、軒並み過去最高の売上げと利益をたたき出しています。その一方で、現場で働く技能労働者の賃金や労働条件は、いまだ十分に改善されていません。

この状況を変えようと、東京土建は、10月25日、26日を中心に行った第68回大手建設住宅企業交渉(全建総連関東地方協議会連絡会)に参加し、大手建設企業・住宅企業に対して、現場実態を突き付け、就労環境の改善を強く訴えました。

交渉先企業は全体で37社(建設企業29社、住宅企業8社)、10月25日、26日の全体集会には、のべ700人(東京土建183人)の仲間が参加、28社との交渉に臨みました。

官民で取り組む「建設業働き方改革」が、長時間労働是正・週休2日確保や、技能と経験に相応しい賃金と社会保険加入徹底を進める中、交渉では、現場労働者の賃金引上げと処遇改善、収入を減らさない元請責任による週休2日制の実施、適切な社会保険・労働保険適用、若手人材の確保・育成、労働安全衛生環境の整備など、諸課題の実現を迫り、回答を求めました。

企業側の回答は、企業が実施する賃金調査の精度は若干向上したものの、賃金は相変わらず横ばいのまま。技能労働者は、日給月

払いが多いものの、土曜日の賃金補填への具体的な回答はなく、36協定の調査も行わないとする企業が多い数でした。

この間、東京土建等、関東の建設労働組合は、オリ・パラ競技施設や民間都市再生の大規模現場の前で、現場労働者を励まし、実態把握にも努めてきました。

今回の交渉では、その元請企業に対し、仲間からの告発に基づき過酷な現場実態(今夏の「災害的暑さ」の屋内作業でクーラーが少なすぎ、工期短く長時間労働、元請の強圧的な態度等)を厳しく追及、改善を強く求めたところ、元請は調査と改善を約束しました。

今後も、現場の仲間の告発・改善要求に依って立ち、大手建設企業・住宅企業で改善を勝ち取るよう多くの仲間と奮闘していきます。

私大教連

2018私大助成国会請願行動

東京私大教連の上部団体である日本私大教連は11月1日、2018私大助成国会請願行動を実施し、全国の私大教職員33人と学生らが生支援機構が奨学金返済延滞者の保証人に対し、法律では半額の返還しか義務付けられていないことを隠して全額返還を求めていたという報道に触れ、奨学金制度の抜本的改善の必要性を強調しました。吉良よし子参議院議員(共産)、山本和嘉子衆議院議員(立憲)、吉川元衆議院議員(社民)も、私大生の学費負担軽減に尽力する決意を述べ、奨学金の負担に苦しむ学生とも意見交換しました。

午後からはグループに分かれて衆参108人の議員室をまわり、署名の紹介議員を引き受けてもらうよう要請しました。



私大助成問題での院内集会(11/1)

10・13小平市民集会

を主催

小平総かがり実行委員会などが主催

10月13日、小平総かがり・辺野古新基地建設NO! 行動実行委員会と多くの市民・政党・団体のよびかけに、小平市民集会が開催された。130人の市民が参加した。

集会では、立憲民主党・自由党・共産党・生活者ネット・緑の党・社民党(メッセージ)・東京土建小平東村山支部・新婦人小平支部・さまざまな原発の会の代表と僧侶から「何と



市民130人が「改憲やめさせよう」と行進(10/13)

しても安倍政権を倒さなくてはならない。力を合わせてたたかおう」と力強い訴えがありました。集会後、「みんなの力で政治を変えよう」などとコールしながら、小平駅前までパレードしました。

小平では、普段日頃から、「安倍9条改憲をやめさせよう」ということで、毎月、9の日宣言署名行動や小平・平和共同センターの街頭宣伝、小平市議有志によるピースアクションなどを継続して行っています。

小平全体の3000万署名は、9月末現在で、1万3339筆となつています。

般目黒分会)。
練馬労働連26回大会 鈴木孝さん(立川地域工二オン)、事務局長に日下努さん(法会労)。
10月20日、東京土建練馬支部会館で開催。議長 武三地区労第64回大会に金田安夫さん(都教協) 10月20日、三鷹市市民協働センターで開催。議長に柳瀬茂喜さん(武蔵野三鷹一般労組)、事務局長に高橋茂さん(公共労働会館)で開催。議長に一般)。

学習の友 12月号

地域をこわすアベ政治
地域と市民生活を守り発展させるためにはどうすればいいのか
いまあらためて「憲法を暮らしに活かす」のスローガンを
地方議会で活動する日本会議系の右翼議員
2019年国民春闘と地域運動を考える

新連載 地域 豪雨災害が浮き彫りした課題 自治労連 高尾佳孝
新連載 若手役員「開き直り」ガイド ①役員って何するの 千葉土建 小松 悠
世界124か国の労働時間法制-LO報告から 簡井晴彦

労働者教育協会編 定価500円 送料70円
お申し込みは 学習の友社 tomo@gakusyu.gr.jp ☎ 03 (5842) 5641

ZENROSAI NEWS 13182003

支えあう安心。これからも、もっと大きく。

保障のことなら 東京推進本部
(東京労働者共済生活協同組合)
〒160-0023 新宿区西新宿 7-20-8
全労済は、福利を目的としない保障の工場として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただき組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。